

# チーム開発ステージ

## 創作課題

電子機械基礎実習 2019

2019/12/9

# 創作課題

- テーマ: ロボットとロボット、人とロボットの協調
- 概要
  - ロボットとロボットまたは人とロボットが協調して動作し、見ていて楽しい、すごい、癒される、使えそうなどと感じてもらえるシステムを開発する。
- 2体以上(最大4体)のロボットが何らかの協調動作をする。
- 人や物がパフォーマンスのオブジェとして入ってもよい。
- ストーリー性があるとおもしろい。

# 開発・発表の条件

- チーム構成: 5人～6人
- NXTを2台～4台使用したシステムとすること
- パフォーマンス・スクエア: 3m x 3m
- 舞台設定に必要なものを可能な範囲で提供する。
  - 模造紙、段ボール、カラーマーカー、マジック
  - 30cmx50cmの塩ビ板、 50cmx50cmカーペット
  - その他（応相談）

# 発表会

- 持ち時間
  - 舞台準備時間 2分、撤収時間 1分
  - パフォーマンス時間(プレゼンとデモ) 5分
- 評価方法
  - 技術レベル、完成度 (教員評価)
  - 印象度(おもしろさなどの印象) (学生評価)

# 開発スケジュール

日付	内容
12/9(月)	チーム分け、リーダー等の選出、企画・コンセプト検討
12/16(月)	システム開発計画書作成(可能なら、提出)
1/6(月)	システム開発 (システム開発計画書提出)
1/20(月)	システム開発
1/27(月)	システム開発
2/1(土)午前	システム開発 (午後 MIRS発表会) ※授業時間にはカウントしない
2/3(月)	発表会
2/10(月)	報告書作成、授業アンケート

# システム開発計画書

1. 班名、構成員（1班～7班）
2. システム名
3. システム概要
4. システム構成
  - ハードウェア、ソフトウェア
5. 担当項目、担当者
6. 開発スケジュール

# チーム内の役割分担

- リーダー （サブリーダー？）
- 担当項目
  - システム開発
    - メカ、ソフト
  - フィールド製作
  - 脚本
  - プレゼン
- など

# チーム編成

1. 6名 x 4チーム、5名 x 3チーム(計7チーム)
2. くじ引きによりチームメンバーを決定する。
3. チームリーダーを選出し、報告する。
4. 1チーム2セットのパーツ箱を使用し、必要に応じて追加配布する。(NXTは最大4台提供)

班	1	2	3	4	5	6	7
人数	5	6	6	6	6	5	5
箱	1, 11	2, 12	3, 13	4, 14	5, 15	6, 16	7, 17



# 各班の開発エリア

